

# 報恩講とは

浄土真宗本願寺派《お西》

「報恩講」と名付けられたのは親鸞聖人  
33回忌の時、本願寺第3代覚如上人が、  
『報恩講私記』を著されたことに由来し  
ています。

御本山本願寺では親鸞聖人の祥月命日  
にお勤めすることから「御正忌報恩講」と  
いい、毎年1月9日から16日の御命日  
までの8日間お勤めされています。

新潟別院では毎年6月25日から27日  
までの3日間お勤めされ、各別院や一般寺  
院など、御本山の報恩講に先立ってお勤め  
することが習慣となっている地域ではお  
引上げとか御取越などとも呼ばれていま  
す。

ぜひ一般寺院や御本山、別院などの全国  
の浄土真宗のお寺でお勤めされる報恩講  
にお参りいたしましょう。

そして、ご家庭でもどうぞ報恩講をお勤  
めください。

当寺の報恩講は

月 日です

新潟教区実践運動 仏事勤式研究部会作成

## 親鸞聖人の御生涯

1173年5月21日(承安3年4月1日)京  
都の白野の里でご誕生され、9歳で得度し仏  
門に入られ(僧侶になられ)ました。比叡山で  
20年もの修行も、迷いや苦悩から逃れるこ  
とができなかったため比叡山を下り六角堂  
での救世観音の夢告により、法然聖人の門弟  
となられました。しかし35歳の時、専修  
念仏停止により越後に流罪、39歳で赦免の  
後、妻の恵信尼さまや家族とともに関東へう  
つり20年間ご布教なされました。1224年  
(元仁元年)に『顕浄土真実教行証文類(教行  
信証)』をあらわされ、その後に京都に帰ら  
れても著述活動を続けられ、1263年1月  
16日(弘長2年11月28日)90歳で御往  
生されました。

## 新潟と親鸞聖人

1207年(承元元年)京都で念仏の弾圧、禁止  
が行われ、親鸞聖人は越後に流罪となりまし  
た。そのとき上陸したと伝えられるのが現在  
の上越市五智にある居多ヶ浜です。当時その  
近辺にあったとされる越後の国府周辺を拠  
点として生活されたといわれています。新潟  
には七不思議など、親鸞聖人に関する伝説が  
残されており聖人とのご縁が深い地域です。